



市長コラム

～未来への架け橋～

Vol.13

令和4年が幕を開けてから1カ月がたち、寒さが一段と厳しさを増しております。今冬は例年に比べ積雪も多く、市民の皆さんもご不便が多いことと存じますが、こうした時こそ、官民一体となって地域全体で支え合い、この冬を乗り切っていきたいと思っております。

★新たな変異株の感染拡大に伴い、感染防止対策の徹底をお願いします！

新型コロナウイルスの感染状況は、昨年の11月以降、落ち着きを見せていましたが、今年に入り、オミクロン株への置き換えが進み、全国的に感染が急拡大しています。本県でも感染者が急増しており、これまでよりも早いスピードでの感染拡大が懸念される状況となっています。当市では、昨年12月に「PCR検査センター」を開所し、出張や帰省の方など、気軽に検査を受けることができますので、ご自身はもとより、ご家族や地域の感染防止と安心のためにもご活用いただきたいと思っております（**今月号3ページ掲載**）。

当市における新型コロナワクチンの2回目の接種率は9割を超え、市民の皆さんのご協力に心より感謝申し上げます。2月からは高齢者の方から順次3回目の追加接種を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

また、多くの飲食店をはじめ事業者の皆さんに感染対策への取り組みを実践していただいておりますが、感染拡大が危惧（きぐ）される中、経営への影響や事業の継続に大きな不安を抱えられていることと思っております。五所川原商工会議所からも市に対し、事業者支援についての要望があり、こうした状況を踏まえ、売上げが減少している事業主を支援する「五所川原市新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金」を支給することとしました。申請期限は2月28日となっていますので、忘れずに申請いただくようお願いします（**今月号6ページ掲載**）。

★行政運営における「不易流行」の理念

長期化するコロナ禍にあって、今、社会全体が目指すべきは、感染拡大以前に戻るのではなく、時代の変化や困難な状況に向き合い、そこから教訓を得ることであり、「今、何をなすべきか」を見極め、変化を重ねながら、ウィズコロナ、そしてアフターコロナという新たな局面に向かってまい進していくことが重要であると思っております。

俳聖松尾芭蕉の理念に「不易流行」という言葉があります。「不易」は時代を経てもいつまでも変わることのないもの、「流行」は新しさを求め世の中の変化とともに変わっていくものですが、その根本は一つであり、本質的なものを大切に守りながらも、新しく変化を取り入れていくことだと言われております。

私は行政にもこの理念と相通するものがあると考えています。行政の果たすべき役割、行政サービスの本質は「地域住民の生活を支える」ことであり、いつの時代も不変ですが、そのためには、時代背景や社会情勢をしっかりと見極め、常に新しい発想で変化を重ねていくことが必要ですので、これをしっかりと踏まえながら行政運営を進めていきたいと考えています。

★マイナンバーカードの受け取りが土日できます！

このほど国の政策の一つとして、マイナンバーカードの新規取得等にマイナポイントが付与されるなど、取得促進に向けた取り組みが進められています。市では、仕事や家事、育児などで平日に窓口にお越しいただくことが困難な方が平日以外でもマイナンバーカードの受け取りができるよう、2月第2、第4の土曜日と日曜日に市役所本庁舎の窓口開庁を行います。また、スマートフォンの扱いに不慣れな方や顔写真の用意ができない方のため、申請手続きのサポートをしています。ご利用には事前予約が必要ですので、市民課または各総合支所までお問い合わせいただくようお願いします（**今月号8ページ掲載**）。



『PCR検査センター開所式』の様子



『五所川原商工会議所からの要望』の様子